

令和8年度 シラバス

教 科	地理歴史	科 目	地理総合	学 年	第1学年	学 科 類 型	普通科
単位数	2単位	教科書	高等学校新地理総合（帝国書院）・新詳高等地図（帝国書院）				
副教材	高等学校新地理総合ノート（帝国書院）						

学習目標	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けます。 地理に関わる事象の特色や相互の関連を、人間と自然環境との相互依存関係、地域などに着目して、多面的・多角的に考察し、それらを基に議論したりする力を養います。
------	--

キャリア教育の視点	地理的なものの見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を身に付けます。
-----------	--

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4月	1部	世界地図を通して、方位、時差などについて学びます。また、それらを可能にするGISについて学びます。 国家の三要素、国家間の結びつきやグローバル化について学びます。 世界の地形や気候、言語や宗教に加えて、世界の産業を学び、人々の歴史的背景が生活に与える影響を学びます。	中間調査
	5月	1章 地図と地理情報システム		
	6月	2章 結びつきを深める現代世界		期末調査
	7月	2部 1章 生活文化の多様化と国際理解		
2 学 期	8月	2章 地球的課題と国際協力	持続可能な社会をつくるために、今後、国際的にどのような取組が必要になるのかを学びます。	中間調査 期末調査
	9月			
	10月			
	11月			
3 学 期	12月	3部 1章 自然環境と防災	日本の自然災害と防災について学習します。 身近な地域や生活圏への参画の在り方について学びます。	学年末調査
	1月			
	2月			
	3月	2章 生活圏の調査と地域の展望		

学習の方法	教科書と地図帳を中心に、副教材を活用して授業を展開します。 地図帳や地球儀を使うことで空間的な認識を深めるとともに、グラフや図表を活用して地理的なものの見方や考え方を身に付けていきます。
-------	---

評価の仕方	評価の観点（「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」）に即して、定期調査の得点と平常点で算出します。 平常点は、課題への取組、提出物の状況、授業に取り組む姿勢などで評価します。
-------	--

備考	
----	--